

学校運営協議会を設置している学校をコミュニティ・スクール（CS）といいます



10/12 研修会を行いました

文化福祉
センターにて

学校運営協議会委員の方々の希望もあり開催しました。委員の方々が一堂に会しての研修会は初めてです。学校や教育委員会の関係者を含めて79名の参加がありました。

和歌山県教育庁生涯学習課からの説明後、串本町在住で和歌山県CS（コミュニティ・スクール）マイスターの森博司氏に「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ～串本町における取り組みから～」と題してお話いただきました。一部感想をご紹介します。



串本町の話聞き、情報を共有しながら地域や学校、公民館が協力し子供や住民が元気に過ごせるようにしたいと思った。



CSが子供たちの心の成長につながることで、体験型や地域に適した取り組みがよいということなどが印象に残っている。



成果を上げている活動例をもっと聞きたい。有田市の取り組みをさらに充実させるため、今後も研修する機会を設けてほしい。



有田市の公民館の役割と学校運営協議会との連携の在り方、中学校統合後のCSの在り方についてヒントがあった。



串本町で中学生が地域のリーダーとして行事を取り仕切っていることがすばらしいと感じた。子供たちが教科書にはないことを地域の人から学べる、そんな機会を与えられるCSにしていけたらと思う。

有田市がコミュニティ・スクールの仕組みを取り入れて4年目。学校運営協議会委員の方々は様々な事柄に対して前向きに考え取り組んでくれています。おかげさまで、「地域とともにある学校」づくりに向けて一步一步前進しているところです。

今回のアンケート結果（感想）もこれからの活動につながる内容ばかりでした。これらを今後の取り組みのさらなる充実に生かしていきたいと思えます。